

2023年8月20日

2024年度 大学院経営管理研究科

経営管理専攻 修士課程

入学試験（研究者養成コース）

【小論文試験問題】

以下の文章は、新原浩朗著『組織の経済学のフロンティアと日本の企業組織』から抜粋したものである(抜粋に際して、一部の小見出し等を省略するとともに、文章の一部を改変している)。

この文章を読んで、以下の全ての問いに答えなさい。なお、解答にあたっては、全て日本語で書くこと。

- (1) 下線部(A)と(B)について、コースの考えに基づいて、「取引」と「資源配分」という2つのキーワードを使って、市場と企業の役割に関する共通点を50字以内で説明しなさい。
- (2) 図1において、「組織が仮に100%効率的である場合の企業」の点線は、①水平であり、②市場の曲線よりも上に位置している。これら2つの特徴がそれぞれ意味することと、この場合に市場と企業内のどちらで取引が観察されるか、を合わせて150字以内で説明しなさい。
- (3) 下線部(C)に関して、図1のような状況で、トヨタ自動車にとって企業内部の取引から市場取引に移行する($Q_3 \rightarrow Q_4$)ことは、正しい判断であると考えられるか。本文に書かれている内容を根拠にして、正しい判断であるか、間違った判断であるかを選択し、その理由を200字以内で説明しなさい。
- (4) 図1が示すように、実際の経済活動においては、市場取引と企業内取引の両方が観察される。文章中のコースとウィリアムソンの考えを援用しながら、なぜ市場取引と企業内取引の両方が現実には観察されるかを500字以内で説明しなさい。

【用語説明】

- ・情報の非対称性：経済主体が取引や契約を行う際、一方の経済主体が他の経済主体よりも多くの情報を持っている状態を指す。情報の非対称性があると、取引や契約が効率的に行われないことがある。
- ・モラルハザード：情報の非対称性が原因で、契約後にその当事者が自らの努力を怠り、望ましくない行動をとることで、契約の目的が達成されない現象のこと。
- ・ガバナンスコスト：契約の履行や取引を円滑に実行する際に、その監視や管理などにかかる費用を指す。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章・図表は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

出典：新原浩朗著『組織の経済学のフロンティアと日本の企業組織』日経BP 日本経済新聞出版、2023年、pp.10-16。